

『キリストにあって、スポーツも礼拝です！』

神様からこのテーマを与えられて9年になります。

私たちはこのテーマを、単なる「感覚」や「経験」ではなく、実践神学の論文として「言葉」にして表現したいと願っています。そして同時に、自ら陸上競技連盟に登録し、大会に出場することで、その真理を実践を通して「体現」していきたいと考えています。

競技場に足を運ぶと、夢に向かってひたむきに努力する多くの若者たちがいます。そこには毎回、新しい出会いがあります。

彼らに福音を届けるためには、まず私自身が競技場に立ち、同じフィールドに立つことが必要です。

同じ目標に向かって汗を流し、思いを分かち合い、走る喜びを共に味わう。その関係の中で、自然にキリストの愛が伝わっていくことを願っています。

このような出会いとつながりは、陸上競技だけでなく、さまざまなスポーツの現場へと広がり続けています。その様子を見ながら、神様が「体を育む」という働きを通して、私たちのローマの市民権（社会の中で与えられた立場や信頼）をどこまで成長させ、どのように用い、さらにどのような御業を成してくださるのか、大きな期待をもって歩んでいます。

これから神様が開いてくださる新しい出会いと働きに、心からワクワクしています。



★鳩ヶ谷福音自由教会 (埼玉県川口市) - 4/15

祈禱会で証しをさせて頂きました。そして交わりをする中で、そのまま健康体操&卓球へと導かれました(笑)。大嶋先生に久しぶりにお会いでき、祈り、励まし続けてくださる鳩ヶ谷の神の家族の皆さんに主の御業を分かち合い、共に喜んでくださり感謝でいっぱいの日でした。



●田島先生との交わり

神の家族主イエス・キリスト教会の田島先生と久しぶりの再会。日暮里でランチ&カフェタイム。たくさんの主の御業を分かち合いました、明治学院高等学校の陸上部の指導に行く前に、この学校の卒業生である田島先生に祈って送り出して頂き、励ましを受けました。



●東京基督教大学

東京基督教大学大学院研究課程のすべての授業の単位を修得し、残りは修士論文のみ。ここまで守り導いてくださった神様に感謝！今回は担当教授と論文の準備をするため宿泊させて頂きました。TCUの近くには素晴らしい競技場があり、そこでトレーニングをしました。



★明治学院高等学校陸上部 (東京体育館陸上競技場)

3月の宿泊研修会で陸上部の顧問と出会い、今回その流れで競技場で指導をさせて頂く機会が与えられました。陸上部の生徒たちと本当に良い時間を過ごすことができ、「学校にも来て欲しい！」と言われました。顧問の先生からも子どもたちがめちゃくちゃ楽しんでいたと感想を頂き感謝な時となりました。

●働きで繋がっている関係ではなく、

いつも存在を応援してくれるお父さんお母さんのような人たちが誕生日を祝ってくれました。



辛い時には寄り添ってくれて、間違っている時には道を正してくれて、頑張った時には思いっきりセレブレイトしてくれて、嬉しい時には自分のことのように喜んでくれる。働きの成功より、何よりも主によって変えられ成長することを一番喜んでくれる。人生の旅路を一緒に歩いてくれて感謝。

★ジャパニーズゴスペルチャーチ (神奈川県横浜市) - 4/19

関東に滞在している間、棕櫚チャペルに滞在させて頂きながら、この時代にあつての使徒の働きを体験していました。毎日のように出会いを与えてくださり、福音を伝える機会が与えられていること。神様の御業を証する機会が与えられていること。主は素晴らしいお方です。牧裕先生と智子さん、そして子供たちとさらに親くなって神の家族の麗しさを感じています。そんな家族と一緒に礼拝を捧げ、主をほめたたえ、喜び楽しむことができる恵みに感謝です。



●盛岡



まどかの母も横浜から盛岡に引っ越しして来ました。母は私たち家族の宣教の働きを支えるため、決断してこの地に来ました。家族が共に祈り、主を見上げ、チームとなって神様に仕えることができる恵みに感謝します。

●れい

れいは盛岡で友達もたくさんでき、毎日楽しんで学校に行っています。また、陸上部に入部し、日々筋肉痛になりながらトレーニングに励んでいます。顧問の先生は大学まで競技をしていた元陸上経験者。担任と顧問が同じ先生で安心しているようです。学校生活が守られていて本当に感謝です。



●青森からYWAMチームが盛岡を訪問してくれました。

東北のために宣教協力ができるのはとても嬉しいです。お互いのことを知り、どのように地域教会とコミュニティに仕え、次世代を育成することができるか、たくさんの可能性を見出すことができ、とても有意義な時間でした。



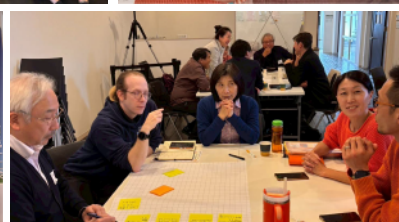
★東京リビングストーン教会 (東京都新宿区) - 4/19

久しぶりにスパイダーマン登場。子どもたちよりユース、青年たちに人気。公園で子どもたちと楽しく遊びました！尹仁重先生と辻太輔先生との交わりにも感謝でした。



★カバレッジ・ラウンドテーブル in 北東北2026 (秋田県大館市) - 4/29

緑の牧場教会大館チャペルで開催された集いに参加しました。北東北のために共に祈り、繋がり、それぞれの賜物を生かし、協力し、宣教する。北東北で成されている御業を聞き感動しました。アスリートチャーチとしても全国で成されている御業を分かち合い、協力の具体例を提示させて頂きました。新しい出会い、久しぶりの再会に喜び、すごく燃やされ励まされた1日でした。



★日本キリスト教団 勝田教会 (茨城県ひたちなか市) - 5/10

今回は、子どもメッセージ、かけっこ教室、夕方のゴスペル礼拝、交わりとフル活動。みんなでヨシュア記1章9節の御言葉を聞いて、その後はかけっこの中でそれを実践。晴天に恵まれ、素晴らしいかけっこの時間となりました。夏の子どもキャンプにも来てくれることを願っています。ユースの集まりで盛岡冷麺パーティー、ゴスペル礼拝の後には盛岡温麺パーティー。盛岡の特産物が用いられています。じゅんが4時間かけて、東京から茨城まで来てくれたことにも感謝。



●保守バプテスト同盟チームワークミーティング

錦秋湖キャンプ場で開催された保守バプテスト同盟チームワークミーティングに参加してきました。アスリートチャーチの紹介をさせて頂き神様の御業を分かち合いました。具体的にどのように協力してできるか話し合い、とても有意義な時間でした。久しぶりの再会の方々もたくさんいて近況を報告できたり、新しい出会いもたくさんありました。恒例の牧師チーム対宣教師チーム対抗ソフトボール試合。みんな年齢に関わらず思いっきり楽しんでいました。3泊4日共に過ごしお互いのことをもっと知ることができ、神の家族の温かさを感じた恵みの時でした。



★勝田保育園 かけっこ教室 (茨城県ひたちなか市) - 5/12

今年度初のかけて教室。年長になったみんなとは「イエーイ！元気だった!？」と声をかけられるぐらい仲良し。ピリピ4章13節の御言葉を宣言した後に「もっと高いの跳ぶ～！もっと走りたい!」とどんどん難しいことにもチャレンジしていく姿が頼もしいです。かけっこが終わった後も、「高い高いして！鬼ごっこやろう！ねえ～見て見て!」とずっと園庭で遊び続けました。また秋に会えることを楽しみにしています。



★盛岡聖書バプテスト教会 こひつじアーク (岩手県盛岡市) - 6/7

礼拝後に親子で公園に行き、楽しく体を動かしました。広々とした場所で思いっきり走って、子どもたちは生き生き。パパたちも本気で走っていて、体は大丈夫かな～と心配になるほどでした。大人たちが本気で子どもたちと遊ぶ機会はとっても大事という感想も頂きました。年齢を越えてみんな笑顔でハッピーな時間でした。



★Go! 八戸ミッショントリップ (青森県八戸市) - 6/20～21

盛岡の若者たちと、青森県にある牧師のいない八戸キリスト教会へ。今回の八戸ミッショントリップは、4月に行われた青森・岩手・秋田3県による宣教協力の集い(ラウンドテーブル)で与えられた、「宣教協力」と「次世代育成」を東北でどのように実践していくかという祈りから始まりました。その中で八戸キリスト教会から奉仕の依頼を受け、「宣教イイじゃん!」をテーマに、次世代と共に国内宣教へ出かける新たなチャレンジとなりました。私たちは約9年間、日本各地を訪れながら神様の豊かな御業を体験してきました。その恵みを若い世代と分かち合い、神の家族として互いに愛し、祈り、仕え合い、支え合う喜びを共に味わいたいという願いを持って……

……このミSSIONトリップに臨みました。

1日目は、ジョイジョイランド(子ども・ユース礼拝)で子どもたちや若者たちと一緒に遊び、礼拝をささげ、その後はBBQを囲んで交わりの時間を持ちました。部活動を終えて駆けつけてくれた中高生や、修学旅行から帰ったその足で参加してくれた高校生もあり、世代を超えた温かい交わりが与えられました。夜は温泉でも語り合いが続き、若者たちの距離が一気に縮まる恵みの時間となりました。



2日目は、親子で体を動かしながら楽しむ時間から始まりました。賛美フィットネスでは保護者の皆さんも積極的に参加し、笑顔あふれるひとときとなりました。続く親子礼拝では、盛岡チームと八戸のメンバーが自然と一つになって賛美をささげ、美しいハーモニーが教会いっばいに響きました。その後、福音のメッセージが語られ、初めて教会に来られた親子も最後まで熱心に耳を傾けてくださり、主が一人ひとりの心に働いてくださることを実感しました。

今回のMISSIONトリップを通して最も大きな恵みは、若者たちが神の家族としてつながり、「盛岡へ行きたい」「また八戸へ行きたい」「一緒に賛美集会をしたい」と語り合う関係が生まれたことでした。宣教は特別な人だけがするものではなく、互いの地域を訪ね合い、共に礼拝し、福音を分かち合うことから始まることを、参加した一人ひとりが体験することができました。



また、「無牧の教会」という先入観も大きく変えられました。八戸キリスト教会では、教会員の皆さんが心から主を礼拝し、地域に開かれた教会として忠実に歩んでおられ、その姿は私たちに大きな励ましを与えてくれました。私たちは励ますために訪れましたが、実際には八戸キリスト教会の皆さんの信仰と愛によって、私たち自身が励まされ、力づけられました。今回の働きを通して、「北東北の宣教は難しい」という思い込みではなく、「人数は少なくても、神様には不可能なことではない」という確かな希望が与えられました。そして何より、若者たちが解放され、自分らしく神様を賛美し、互いに愛し合う姿を見ることができたことが、私たちにとって何より大きな祝福でした。これからも東北の教会同士が互いに行き来しながら、宣教を通して神様を体験し、次世代が主にあって成長していく働きがさらに広がっていくことを心から願っています。



●八戸MISSIONトリップ参加者感想

今回の八戸MISSIONトリップを通して、国外だけでなく、日本国内にも宣教の必要があることを改めて教えられました。これまで宣教というと海外を思い浮かべていましたが、日本には牧師のいない「無牧の教会」が数多くあり、そのような教会のために祈り、支え、ともに歩むことの大切さを深く実感しました。



出発前は、「無牧の教会」という言葉から、人数が少なく元気のない教会を想像していました。しかし実際に訪れてみると、その印象は大きく覆されました。教会には子どもから大人まで多くの方々が集まり、地域に開かれた教会として、生き生きと福音宣教が行われていました。

牧師が不在であっても、教会員一人ひとりが祈り、仕え、地域に福音を届けようとする姿に深く励まされました。二日間の交わりの中で、ともに礼拝し、賛美し、祈ることを通して、「牧師がいるかどうかではなく、私たちは同じキリストの体として神様を礼拝する家族である」ということを強く感じました。特に、子どもたちが心から喜んで賛美する姿や、教会全体が一つとなって主を見上げる姿は、私たちに大きな感動と励ましを与えてくれました。

また、今回のMISSIONトリップでは、盛岡のメンバー同士の絆も深められました。普段とは違う環境でともに奉仕し、互いのために祈り合い、それぞれが新しい奉仕にも挑戦する機会が与えられました。支えるために訪れたはずの私たちが、実際には八戸キリスト教会の皆さんの信仰と喜び、温かい歓迎によって大きく励まされ、「教会を愛し、福音を伝え続けたい」という新たな思いが与えられました。今回のMISSIONトリップを通して、神様は牧師の有無に関わらず、ご自身の教会を守り導き、豊かに用いておられることを目の当たりにしました。そして、日本各地で忠実に主に仕えている教会のために祈り、支え合うことの大切さを改めて教えられました。今回受けた恵みを教会へ持ち帰り、これからも主を愛し、人々に福音を伝える歩みを続けていきたいと願っています。また次の機会には、さらに多くの方々とともに宣教の恵みを分かち合えることを楽しみにしています。

